

## Case.18

# モノづくりを通じて 環境教育を伝える ワークショップコンシェルジュ



ふくもと  
福本 ミカ さん

### 第7期生(平成26年度修了)

**屋号** aspen grove (アスペングローブ)

**創業日** 平成28年7月1日

**所在地** 厚木市戸室5-26-5-401

**電話番号** 046-224-1573

**HP** <http://aspengrove.jp>

**事業内容** ワークショップの企画・運営、  
純銀・木のアクセサリーや  
木のおもちゃなどの販売

福本ミカさんは、大手百貨店や自治体などから依頼を受け、「ワクワクをつなぐモノづくり」をコンセプトにワークショップの企画・運営を行うワークショップコンシェルジュとして、活動しています。

## 環境に配慮した素材を使ったワークショップ

私は、ワークショップコンシェルジュとして、リサイクルした銀でできている銀粘土や小田原・箱根の国産木材の間伐材、寄木細工の端材など、環境や安全性を考慮した素材とストーリー性のある素材を使い、ものづくりの面白さや楽しさを伝えるワークショップを企画・運営しています。

私の提案するワークショップでは、アクセサリーや雑貨の制作を通じて、環境教育や参

加者同士のコミュニケーションツールとなるようなメニューを組み立てています。

また、小田原・箱根の寄木細工職人の方々と協力して、オリジナルの木のおもちゃやインテリア雑貨を開発し販売しています。

## 理念を大切にブレない経営

私は、会社の理念を大切にし、真心を込めて真剣に仕事と向き合うようにしています。お客様から理念に沿わないご依頼をいただいた際には、理念を捨てて嫌々ながらも請けることはせず、お客様の要望に応えつつ会社の理念に沿う提案をさせていただいています。初めは、お断りすることに抵抗もあり、仕事も少なくなって落ち込む時期もありましたが、今では理念をご理解いただいた上で、改めてご依頼いただくこともあります。



## 起業をしてみても 身に染みる言葉

私は、同じ趣味を持った友人数名と事業を始めたいと考え、あつぎ起業スクールに参加しましたが、この甘い考えに対して講師の方々から厳しいお言葉をいただいたことを今でも覚えています。その当時は反発心もあり、自分は成功すると考えていましたが、結局、意識の違いから、その友人との起業はお断りすることになりました。今では講師の方々のお言葉が身に染みんでいます。

また、起業は家族の理解があってこそだと思います。理解があれば、家族からのサポートを受けることができます。私も夫に相談し、経理は夫がするというで起業をサポートしてもらいました。今では、一緒に

## 起業を目指す方へ

起業することで、「やりたいこと」ができなくなったり、「やいたくないこと」をやらなければならない場面に遭うことも。そんな時は、自分がやりたいことを仕事とするための「フシない心」が必要だと思います。

ワークショップに参加するなど、完全に巻き込んでいます。

## ワークショップ コンシェルジュ認定講座

私がメインに使っている「ワークショップコンシェルジュ」という肩書きは、私が商標登録している肩書きです。将来はこの職業に共感してくださる方を対象に認定講座の開催もしてみたいと考えています。

また、知育も取り入れたワークショップに説得力を与えられるように、おもちゃコンサルタントなどの資格を取得しました。知育の中でも、木育（もくいく）という「木が好き な人を育てる活動」に力を入れています。

そして、2年後を目標に株式会社への法人化も考えており、それに向けて売上也増やしていけるよう頑張っています。

